

2021年3月11日

大阪府福祉部長 松本 正光 様
大阪府健康医療部長 藤井 睦子 様
大阪府環境農林水産部長 南部 和人 様

自治労大阪府職員労働組合
健康福祉支部長 酒匂 博好

2021年度 健康福祉支部要求・要望書

私たち組合員が、専門性や経験、能力を活かし、府民福祉・公共サービスの向上のための仕事に専念できるよう、自らの労働条件について下記の要求を行いますので誠意をもって対応されたい。

1. 支部・分会との労使慣行を厳守し、労働条件の改変にあたっては、一方的な実施は決して行わないこと。また、各分会・班要求については、誠意をもって話し合うとともに、その実現に努めること。【共通】
2. 新型コロナウイルス感染症対策により業務量が大幅に増えた。職員自身が感染リスクもありながら、使命感を持って業務にあたってきたが、長期にわたる対応により、精神的・肉体的な負担が大きくなっている。この負担に見合う評価を行うこと。【共通】
3. 「全国トップレベルのスリムな組織体制」（大阪府職員管理目標）を目指してきた結果、恒常的な時間外勤務の発生など、職員を犠牲にした体制となっている。業務量に見合う人員配置、必要な新規採用職員の確保など、適切な措置を講じること。【共通】
4. 労働時間を適正把握するとともに、休憩の確保、リフレッシュ推進を行い、不合理な管理強化は行わないこと【共通】
 - (1) 実労働時間の完全把握（休憩時間の確保を含む）を行うこと。「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」（平成29年1月20日策定）を踏まえた措置を講じること。
5. 年度途中退職、産育休、長期の病気療養、退職、夜勤免除、および育児の短時間勤務取得に伴い、当該職員も安心して休暇等取得でき、通常勤務する職員の労働条件の維持ができるよう、代替職員など必要な措置を講じること。【共通】
6. 2014年4月の「技能労務業務のあり方に関する基本的な考え方について」において、給食調理業務や保健所運転業務、野犬等の捕獲等業務について、「委託・外注や非常勤職員

による対応が可能」とされた。正規職員のこれ以上の削減は、緊急時対応や技術継承、業務に応じた適正な人員配置が困難となり、休暇取得など労働条件を悪化させる懸念がある。労働条件に係る事項について誠実に協議・対応すること。【共通】

(要望事項)

- ① 同「基本的な考え方」は、「今後とも、必要に応じて、業務の執行体制の検討・見直しを行う」としているが、その後の状況をふまえた見直しを行うこと。【共通】
 - ② 野犬の捕獲業務等の業務内容の性質から、現業職員での専門性（知識・経験）や柔軟性（時間外対応・突発性対応）でしか対応できないことを踏まえ、広域行政として住民に対する安心と安全の確保と維持に努めること。【環境】
 - ③ 動物愛護管理センター設立の趣旨をふまえ、動物のための飼料や飼育用品の質を下げるこたのないよう適正に予算を措置すること。【環境】
7. 職員基本条例にもとづく人事評価制度は、客観的基準も示されておらず、評価結果に基づき給与反映や分限解雇を行わないこと。【共通】
 8. 非常勤職員が恒常的な業務を担っていることを踏まえ、現在雇用している非常勤職員の大阪府での継続雇用を図り、常勤化すること。また、労働条件の改善を図ること。【共通】
 - (1) 一般職公務員の位置づけとなったことから、予算確保や雇用手続きについて各所属で差が出ないように全庁的に対応し、適正化すること。【共通】
 - (2) 勤続年数に応じた昇給、一時金の支給を行うなど、常勤職員との格差を解消すること。【共通】
 - (3) 施設では年末年始、祝祭日の対応が必要であり、休日手当等の措置を講じること。【福】
 9. 家庭環境や持病・障がい等に関わらず、適性に応じた人事異動・業務配置を行い、通勤、休暇等についての合理的な保障など「合理的配慮」を行うこと。【共通】
 10. パワーハラスメントの防止について周知、及び管理職研修など実効ある対策を講じること【共通】
 11. その他、職場環境の改善・改修を行うこと
 - (1) 冷暖房については、職員・来庁者の体調を悪化させないよう最大限の配慮を行い、やむを得ない残業時についても使用できるようにすること。【共通】